

要望書「国保坂下病院の機能について」の回答書

はじめに

全国で毎年多くの医療機関が閉院されており、病院運営においては大変厳しい状況が続いています。その主な要因は、医師不足、経営悪化、医療制度改革の3つが考えられますが、坂下病院においては、3つすべてが大きな課題となっています。このような中、将来にわたり市民の皆さまに質の高い医療を安定的に提供していくためには、8万人の都市で2つの公立病院を現状のまま存続していくことは極めて困難であり、2つの病院の機能を抜本的に見直していく必要があります。

中津川市の新公立病院改革プランでは、坂下病院の入院機能として療養病床50床を維持する内容になっておりますが、平成30年2月に開催された中津川市公立病院評価委員会において、現状の計画のままでは、2病院共に成り立たなくなる恐れもあり、早期に計画の抜本的見直しを行う必要がある。と提言をいただきました。

現在は、主に坂下病院の今後の医療機能について、両病院長と協議を重ねており、提言書の内容を踏まえて、どのような見直しが必要か検討しています。

何卒、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

要望内容1：開業医が少ない当地区においては、以下の診療科を維持する。

また、患者数に見合う療養病床50床を維持する。

(維持を要望する診療科)

内科・小児科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・皮膚科・泌尿器科

回答

- ・新公立病院改革プランでは、医師確保が可能な外来診療科を残す計画になっています。現在は、患者数や採算性も考慮して検討しています。
- ・療養病床については、制度改革により基準を満たす患者の確保が課題です。すでに、坂下病院の療養病床50床を埋められない状況となっています。今後の坂下病院の入院機能については、医師不足や住民の利便性なども考慮し、どのような病床が適しているか検討しています。

要望内容2：高齢化の進行に伴い必要性が高まるリハビリ機能、人工透析は継続する。

それにより老人保健施設の機能充実を図ることができると考えられる。

回答

- ・新公立病院改革プランでは、人工透析は継続する計画になっています。人工透析については可能な限りの継続を考えています。
- ・リハビリ機能については、医療機能に応じた対応を考えています。

要望内容 3 : 治療後の軽度な急性期・回復期の入院、早期発見に資する検査入院等が可能な入院機能として、医師、看護師の確保に特段の努力をされ、一般病床の復活が出来るようにする。

坂下老人保健施設との連携を図り、安心安全な施設として特色を出す。

回答

・平成 30 年 8 月から坂下病院の入院機能は療養病床 50 床となりました。現在、この療養病床 50 床について、要望内容にある入院機能を含めどのような病床が適しているかを検討しています。

しかしながら、東濃圏域地域医療構想において急性期一般病床は過剰であると推計されており、既に休床した急性期一般病床の復活については、今後は『東濃圏域地域医療構想等調整会議』で協議が必要になります。

制度上で言えば、要望される病床機能の必要性を十分説明できれば可能ではありますが市民病院の急性期一般病床でさえ再稼働は非常に難しいです。

率直に申し上げますが、軽度、重度を問わず、以前の様な急性期一般病床の復活は非常に難しい状況と考えます。

要望内容 4 : 企業健診（H31.3 終了予定）は、健診日を限定し市民病院スタッフを派遣する等して受診率を高め、予防による医療費抑制を図り、命を守る。

回答

・新公立病院改革プランでは、実施可能な範囲で継続する計画になってはいますが、医師不足が進む中、医師への負担軽減の一助として企業健診の終了を予定しています。また、企業健診には多職種のスタッフや医療機器が必要となり、安定的な継続は困難と考えています。

何卒、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

要望内容 5 : 常勤医師の招聘について、各方面への働きかけを継続する。また、困難を極める医師及び、看護師の確保ができるよう、市独自の施策を進める。

回答

・現在取組んでいる医師招聘の他に地元出身の医師へのアプローチ、他地域で退職された医師へのアプローチなど積極的に取組みます。